



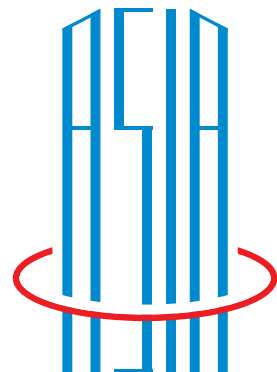
吉田 伸弘

YOSHIDA Nobuhiro

住友商事常務執行役員
国内担当役員 関西支社長



「関西ならではの」を生かして、 アジアの成長を 大いに取り込もう！



2023年4月より、関経連にてアジアビジネス専門委員長を務めさせていただいています。主な任務は、関経連とASEAN 7カ国（インドネシア・マレーシア・ミャンマー・フィリピン・シンガポール・タイ・ベトナム）の経済団体が連携して2019年4月に発足させた「アジア・ビジネス創出プラットフォーム（ABCプラットフォーム）」をより強固なものとし、「関西ならではの」の“アジアとのつながりの強化”、“アジアとの具体的なビジネスの創出”を実践することです。

ABCプラットフォームの活動は主に「テーマ別部会」と「ABC Challenge サポートプログラム」が両輪となっています。「テーマ別部会」では、「人材育成・活用」「中堅・中小企業支援」「農業」「観光」「環境」「スタートアップ」の6部会にて参画企業の皆さまとビジネス開拓に取り組んでいます。また、「ABC Challenge サポートプログラム」では、7カ国の企業と日本企業のマッチングを積極的に進めています。今年度からは中小企業基盤整備機構とのタイアップも開始し、マッチング機能の充実をはかっています。こうした活動により、現地法人を関西に設立する、あるいは日本企業との商談・協業を検討するといった目に見える成果も出てきています。私自身、昨年ASEAN5カ国を訪問し、各国経済団体のトップとニーズや必要施策などについて話し合いました。今後も具体的な成果を積み重ねていけるよう関係の皆さまと尽力していきたいと思えます。

ABCプラットフォームでは、各国経済団体のトップが集まり進捗状況を確認する「全体会議」を年1回開催しています。昨年3月にはジャカルタで第3回を開催、今年は大阪・関西万博の視察も兼ね、4月に第4回全体会議を大阪で開催します。あわせて松本正義会長との1on1トップ

会談も計画しており、関経連とASEAN各国との関係をさらに強化していきたいと考えています。

これらの活動の基盤となっているのが、約45年継続している「関経連アセアン経営研修」と450名を超えるその修了生です。各国経済界の第一線で活躍したり、要職に就いていたりする修了生も多く、長い時間をかけて築いてきた人脈が関経連と各国の結びつきを強固なものにしています。まさに「関経連ならではの」素晴らしい成果です。

ところで、私は、「関西は日本のラテン」と思っています。明るくフレンドリーで喜怒哀楽をストレートに表現する関西人気質は、特に海外との交流において大きな強みです。話していると無意識にお互いの顔が近寄ってきますよね。私は、欧州・中東・南米等を中心に約20年間、海外勤務を経験しましたが、この関西人の“芸風”は大抵どの国でも受け入れられました。「関西ならではの」強みを大いに生かして、成長著しいアジアとのビジネスを一層拡大していきたいですね。

昨年11月には、関西財界訪中代表団に参加させていただきました。今回の訪中で最も心に残ったことは、「関西財界ワンチーム」のエネルギーでありパワーでした。今年は、世界中から政府機関や経済団体、企業関係者が万博を訪れます。「ONE関西」でこのチャンスを生かし、海外との連携を深め、関西全体の発展につなげていければよいですね。そして万博と言えば、さまざまなイノベーションの提案が注目を集めますが、私は、同時に、「いのち輝く」ための「平和への願い」も強く発信されることを期待しています。昨年末、大屋根リングにのぼらせていただく機会があったのですが、「このリングこそが世界をつなぐ平和のシンボルたれ！」と願いながら夕日に映えるリングを後にしました。（談）